

家庭『家庭基礎』シラバス

北海道常呂高等学校

学年	2	単位数	2	授業形態	一斉授業
教科書 (出版社)	図説 家庭基礎 (実教出版)			副教材等 (出版社)	なし
学習 目 標	○人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を営むために必要な理解を図り、技能を身につける。 ○生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。				
学習 方 法	○生きることは生活することです。身近な話題を題材にしながら将来に役立てる学習をします。考えることが大切になりますので、自分の生活を見つめ直しながら前向きに取り組みましょう。 ○授業や実習を通して自立に向けた技術を身につけるとともに、現状の生活課題等を自ら発見し、解決していく過程を考えていきましょう。 ○授業で学んだことを家で話題にしたり、実践するなど確実なものにしていきましょう。				
学 習 評 価	評価の観点		評 価 の 観 点 の 趣 旨		
	ア	知識・技能	自立するために必要な基本的知識、調理技術、縫製技術、家族介護のための基本的技術などを身につけることができる。		
	イ	思考・判断・表現	学習した内容を理解した上で、自分の生活課題や社会的な課題を見つけ、その解決策を思考し、内容をまとめることができる。		
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	家族・子ども・高齢者・消費・経済などに対して、またそれらに関連する制度や法律等に関心を持ち、自分の生活をデザインしようとしている。		
評価方法	①	②	③	④	
観点	定期考査	発表・発言	提出物	実習自己評価	
ア	○		○	○	
イ	○	○	○		
ウ		○	○	○	

学習計画

学 期	単 元	学 習 内 容	評価の観点			評 価 規 準	評価方法
			ア	イ	ウ		
前 期 中 間	第一章 自分らしい生 き方と家族	「家庭基礎」を学ぶにあたって、学習の意義や内容、方法を理解する。					
	1「生涯発 達する人 生」3「青 年期を生 きる」	自分自身について客観的に知り、生涯を見通して人の一生について考え、それぞれのライフステージごとの特徴・課題を理解する。	○	○	○	自分について客観的に見つめることができ、人の生涯の特徴・課題を理解することができる。	① ③④
	4「生活を 支える労 働」6「男 女共同参 画社会を めざして」	男女共同参画社会の実現を目指す歩みと社会的背景について理解し、どのような青年期を生きるかを考えることができるようにする。	○	○	○	青年期である自分がこれからどのような生き方をしていくのか社会的背景をも含め、考えることができる。	① ③
	7「現代の 家族」8 「家族・家 庭を取り 巻く社会 環境の変 化や課 題」	さまざまな結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを理解する。	○	○	○	家族・家庭の意義や機能、時代と共に変化する家族の形や機能について理解し、現代の家族に関わる課題についても社会的な事象を考えながら理解することができる。	①②③

前期期末	第六章 衣生活をつくる 1「人と衣服のかかわり」2「健康で安全な衣服」 3「衣服素材の種類と特徴」	衣服の起源や歴史、風土に適した衣服等の学習を通して衣服とは何かを理解する。ライフステージごとの衣服についても学ぶ。	○	○	衣服が着用された説について、その背景や風土などを考えながら理解できる。衣服は年齢によっても必要とされる要素が違ふことが理解できる。	① ③
	6「衣服の管理」7「家庭での洗濯・保管」	繊維の種類と特徴、糸や布について学習する。	○	○	繊維の種類と特徴、用途が理解できる。	① ③
	8「持続可能な衣生活をつくる」	計画的な衣生活を送るために素材の性能を理解し、購入、選択、洗濯、保管、廃棄までの流れを理解する。	○	○	衣服の表示の見方、洗剤の表示の見方などを理解し、適切な衣服管理が行えるようになる。	①②③
		エプロンの被服製作実習を行い、基礎的な縫製技術を習得する。	○	○	被服製作実習に意欲的に取り組み、基礎的な裁縫技術を身につけ、丁寧にエプロンを仕上げることができる。	①②③④
後期中間	5章 食生活をつくる 1「私たちの食生活と健康」	食生活を振り返り、問題点について考える。栄養・食品の知識を元に、食事摂取基準、食品群別摂取量等を用いて、バランスの取れた家族の食事計画ができるようにする。	○	○	食生活の課題について考えることができる。食事の意義についても考え、それと合わせて自分の食生活の改善へとつなげることができる。	①②③
	4 食事の計画と管理	調理に関する基礎的な技術を身につけ、マナーを知り、楽しく食事ができるようにする。調理実習実施。	○	○	調理に関する基本的な「切る」「炒める」「ゆでる」「焼く」等の調理技術を身につけ、楽しく食事をすることができる。実習については後片づけまできちんと行う。	① ④
	9章 消費行動を考える	契約、多様な販売方法や問題商法について理解する。また、被害に遭った場合の解決方法についても理解する。	○	○	「契約」の意味を理解する。契約に関わる消費者トラブルの種類や内容について知る。クレジット等信用販売のしくみについて理解する。	①②③
後期期末	2章 子どもとかかわる 1「子どもの誕生」2「運動機能の発達」	子どもの世界と出会うことによって、自己理解を深める。子どもの誕生、子どもの心身の発達の特徴について理解する。	○	○	人の発達において、保育がいかに重要であるかを学び、誕生から幼児期までの子どもの体と心の発達について理解する。	① ③
	5「子どもの生活習慣と環境」	子どもの食・衣・遊びについて理解を深める。おもちゃや絵本等の児童文化財が子どもの発達や生活にどのような影響を及ぼすのかを考える。	○	○	子どもの食・衣・遊びなどについて理解する。	① ③
	7章 住生活をつくる	生活の機能に応じた住空間構成を理解し、ライフステージやライフスタイルに応じた住生活の計画ができるようにする。	○	○	個人生活・家事労働・共同生活・生理衛生、それぞれの空間における機能を理解し、住まいをどのように設計すればよいのか考えられる。	①②③
	3章 高齢者とかかわる	高齢社会の現状を課題について学習する。高齢者の心身の特徴や生活について理解する。	○	○	現在の高齢社会、将来に向けての高齢化の進む社会について理解する。高齢者の心身の特徴や生活について理解する。	①②③
	4章 社会とかかわる 1 支えあう暮らしとは	個人や家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉制度についてその重要性を理解する。	○	○	年金・健康保険・雇用保険や子どもや高齢者などに対する福祉制度等、生涯の保障制度について理解する。	① ③